

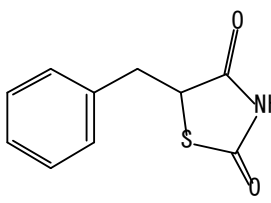
## アラート登録例：化学物質（WPI ファイル, DCR セグメント）

- 特定の構造を持つ化学物質の最新特許を入手したい。

```

=> FILE WPINDEX ← WPI 会員は WPIDS または WPIX ファイルを利用
=>
Uploading C:\Documents and Settings\users\My Documents\STN Express 8.5
\Queries\thiazolidine.str
L1      STRUCTURE UPLOADED
=> D QUE L1
L1      STR

```



Structure attributes must be viewed using STN Express query preparation.

```

=> SDI ← アラート登録を開始するため SDI コマンドを入力
ENTER QUERY L# FOR SDI REQUEST OR (END): L1 ← 構造質問式の L 番号
ENTER SDI REQUEST NAME, (AA017/S), OR END: DCR/S
ENTER COST CENTER (NONE) OR NONE: _
ENTER TYPE OF SEARCH (SSS), CSS, FAMILY, OR EXACT: _ ← 部分構造検索
ENTER TITLE (NONE): THIASOLIDINEDIONE
ENTER METHOD OF DELIVERY (EMAIL), OR ONLINE: ONLINE ← オンラインで入手
ELIMINATE PREVIOUSLY SEEN ANSWERS WITH EACH SDI RUN? Y/(N): _
HIGHLIGHT HIT TERMS? (Y)/N: _
ENTER SDI RUN FREQUENCY - WEEKLY, (EVERYUPDATE), MONTHLY, OR ?: MONTHLY
ENTER SDI EXPIRATION DATE 'YYYYMMDD' OR (NONE): _
QUERY L1 HAS BEEN SAVED AS SDI REQUEST 'DCR/S'

```

- ・ DCR の検索では、化学物質の集合が得られる。ヒットした化学物質が索引された特許を検索する場合には、回答を ONLINE で受け取るように設定する。
  - 回答は、アラートを登録した STN ID 宛に回答セット (/A) として保存されるので、WPI ファイルで ACTIVATE コマンドを使ってアラートの回答セットを呼び出した後、=> S L#/DCR AND アラートが実行された日付<=UPIT と入力する。
  - アラート実行日は、化学物質の回答を表示する際に、UPWX フィールドも同時に指定すると確認できる。
- ・ DWPI セグメントに索引された DCR セグメントの化学物質に対し検索を実行し、更新された DCR セグメントの化学物質（新規に登録された化学物質および既存の化学物質）がアラートの検索対象となる。
  - DCR のアラート登録は更新コード UPWX (WPI クロスリファレンス更新日) が自動的に適用される。